

み づ ほ

第 56 号 (発行: 2025.12.9)

もりへ出かけよう! №.49 冬の森歩き

冬といえば、雪上観察や園内を広く見渡すことができる醍醐味です。視線を変えると、冬の森がどんどんにぎやかに見えてきますよ。

視線を上に



枝同士がぶつからない
よう隙間があるのがよくわかります。

ツルアジサイ果実



イワガラミ果実

つる性植物のツルアジサイや、イワガラミのドライフラワーのような果実が、森を飾り付けます。

オジロワシ



木の葉が落ちると、野鳥が観察しやすくなります。上空ではオジロワシが飛んでいることもあります。

視線を下に

動物の足跡から活動していた姿
を想像することができます。



キタキツネが
掘った穴

ユキウサギの足跡

木の種子が落ちていたり、野鳥やエゾリスが種子を食べた跡があることも。
周りに落とし主がいるかもしれません。



アサダの果実：中の種子は食べられ、残った袋が散らばっている

クモガタガガンボのように、雪上で活動する昆虫がいます。



クモガタガガンボ

葉痕ミニ図鑑

第二弾

園内では落ち葉がたくさん見られるようになりました。葉が落ちると枝先にある葉が付いていた跡「葉痕(ようこん)」が観察しやすくなります。葉痕には、葉と枝との間で水分や養分を交わしていた維管束痕が見られ、それが目や口などおもしろい模様に見える種類もあります。

葉が落ちた今の季節、葉痕ウォッチングをしてみませんか。

野幌森林公園では、植栽種を含めて約180種類※の樹木が確認されていますが、今回はそのうちの36種の葉痕を五十音順で紹介します。

(▲：植栽種、国内外来を含む外来種)

(※【道立自然公園野幌森林公園の植物 野幌森林公園植物調査の会】の調査による)



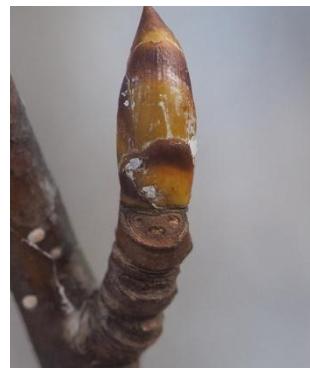
アカイタヤ



アキグミ



アクシバ



ウダイカンバ



エビガライチゴ



オオカメノキ



オオバボダイジュ



オニグルミ



カシワ▲



クロイチゴ



ケヤマウコギ



コシアブラ



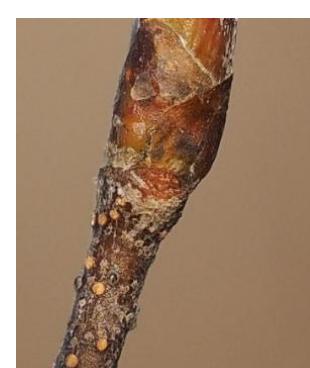
コナラ



コバノヤマハンノキ▲



シウリザクラ



シラカンバ



チョウセンゴミシ



ツルウメモドキ



ツルシキミ



ツルマサキ



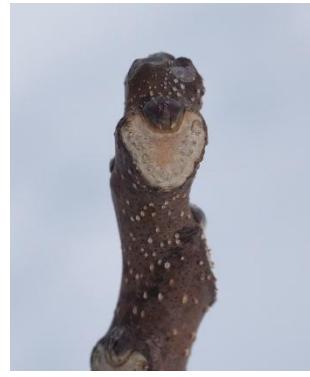
テウチグルミ▲



ナツグミ



ナワシロイチゴ



ニワルシ▲



ヌルデ



ノブドウ



ハシドイ



ハナヒリノキ



ハンノキ



ブナ▲



ミズキ



ミヤマイボタ



ミヤマガマズミ



ヤドリギ



ヤマブドウ



ヤマモミジ

野幌森林公园ニュース

カマキリ現る！

野幌森林公园にはもともといなかったオオカマキリの幼虫が、7/9に交流館の前で発見されました！

その日から、ちらほらと見つかり始め、8月以降、成虫が多数発見されました。



発見された幼虫：体長は3cmほど



成虫

9/28には初めて交流館の近くで卵嚢が確認されました（①）。籠に付着しており、地上高25cmほどでした。

実は去年も数件目撃情報がありましたが、ここまで多く発見されたのは今年が初めてです。今後も注目していきます。



卵嚢



①交流館付近、②大沢コース



見つけた場所、日時、
♂♀、卵嚢など情報が
ありましたらスタッフ
に教えてください！

～文・写真・絵：普及啓発員 A～

わくわく！いきもの冬まつりを開催します

2025年12月13(土)～2026年1月18(日)の約1か月間、自然ふれあい交流館にて、「わくわく！いきもの冬まつり」を開催します。期間中はクイズラリーやジオラマ展示、スノーシュートラベルなど、冬の自然とふれあえるイベントを行います。

スノーシュートラベルでは、スノーシューを履き、動物の痕跡や野鳥を観察しながら森を散策することができます。

野幌森林公园で冬の森を楽しみましょう。



スノーシュートラベル



クイズラリー



ジオラマ展示

～文・写真：普及啓発員 N～

野幌森林公园 自然ふれあい交流館

(発行・編集／指定管理者：一般財団法人北海道歴史文化財団)

開館時間：10～4月 9:30～16:30、5～9月…9:00～17:00

休館日：毎週月曜日（祝日・振休の場合開館）、年末年始（12/29～1/3）

入館料：無料

駐車場：大沢口 約40台収容、無料

連絡先：〒069-0832 北海道江別市西野幌 685-1 TEL011-386-5832

自然ふれあい交流館
公式ホームページ



自然ふれあい交流館
公式SNS

